

インド学チベット学研究

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

第 13 号

- 内藤昭文 『大乘莊嚴經論』の構成と第 IX 章「菩提の章」の構造
—ウッダーナ(X, k.1)の理解を踏まえて— (1)
- 乗山悟 アルチャタの「遍充論」
—*Hetubinduṭīkā* 研究(4)(pp. 17, 21–21, 10)— (39)
- 那須円照 『アビダルマ・ディーパ』における心不相応行の研究(2) (55)
- 志賀浄邦 *Tattvasaṃgraha* 及び *Tattvasaṃgrahapañjikā*
第 18 章「推理の考察(*Anumānaparīkṣā*)」和訳と訳注(3) (98)
- 五島清隆 チベット訳『梵天所問経』—和訳と訳注(1) (141)
- 岡崎康浩 サンギータラトナーカラ第一章試訳・その 2 (185)
- Klaus Glashoff From *Trairūpya* via *Hetucakra* to *Uddyotakara* (239)

2009 年

インド哲学研究会

<http://www.jits-ryukoku.net/>

執筆者紹介

内藤昭文（ないとう しょうぶん）	龍谷大学非常勤講師
乗山悟（のりやま さとる）	龍谷大学非常勤講師
那須円照（なす えんしょう）	龍谷大学仏教文化研究所客員研究員
志賀浄邦（しが きよくに）	京都産業大学文化学部国際文化学科講師
五島清隆（ごしま きよたか）	佛教大学非常勤講師
岡崎康浩（おかざき やすひろ）	広島県立三次青陵高等学校教諭
Klaus Glashoff	ハンブルク大学名誉教授

編集後記

本年も無事『インド学チベット学研究』の編集を終えることができました。巻頭論文は内藤昭文氏の『大乘莊嚴經論』の菩提品を扱う論考です。故長尾雅人先生は長年龍谷大学大宮学舎で同書の読書会を開催しておられましたが、近年は荒牧典俊先生に引き継がれています。内藤氏は最初期からのメンバーであり、本年の本願寺派安居で同書を講義されました。本論文は同氏の長年に亘る『大乘莊嚴經論』研究の成果であります。

一貫して本誌の実質的な編集を担当してくださっている乗山悟氏の『ヘートゥビンドゥ注』翻訳の続編を掲載できることをうれしく存じます。那須円照・志賀浄邦氏の翻訳研究は前号からの継続であり、志賀氏のは今回で完結いたします。岡崎康浩氏のインドの音楽書の翻訳研究も前々号の続編であります。新たに、五島清隆氏の大乘經典の翻訳の掲載を開始いたしました。このように、必ずしも公刊が容易ではないインド古典の翻訳研究を掲載するという本誌の目的は果たされつつあると存じます。

最後に、昨年龍谷大学の沼田研究フェローとして来日しておられた数学者グラスホフ博士の「証因の三相」に関する興味深い論文を掲載します。インド論理学を論理学として評価する新たな試みとしてお読みください。

最後になりましたが、本号もまた創始者である神子上先生の全面的な経済的ご支援によって刊行可能になったこと、こころより感謝申し上げます。なお、乗山氏のご努力により、バックナンバーをインターネット上に載せております。ダウンロードも可能です。一度ご訪問くだされば幸いです。（SK 記）

『インド学チベット学研究』入手のご案内

本誌の入手を希望されます場合は、実費で頒布いたします。住所氏名および入手希望号・冊数を編集者の桂紹隆までご連絡ください。折り返し発送するとともに、費用の支払い方法についてご案内いたします。費用は各号いずれも本体 1000 円+送料実費となっております。

〈バックナンバーのご案内〉

第 1 号（品切れ）神子上 恵生／唯識学派による外界対象の考察(2)—Tattvasaṃgraha と Tattvasaṃgrahapañjikā の 23 章外界対象の考察— 若原雄昭／仏教徒のジャイナ教批判(2)— 藤田 祥道／『五百頌般若経』について—試訳(承前) 那須円照／有部の形実有論と経量部の形実有論(上) 原田和宗／〈経量部の「単層の」識の流れ〉という概念への疑問(I)

第2号 藤田祥道／クリキン王の予知夢譚と大乘仏説論—『大乘莊嚴經論』第一偈の一考察— 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(II) 那須円照／アビダルマの極微論(2)—極微が触れるか触れないかという問題を中心として 神子上恵生／唯識学派による外界対象の考察(1)—*Tattvasaṃgraha* と *Tattvasaṃgrahapañjikā* の 23 章外界対象の考察—

第3号 藤田祥道／仏語の定義をめぐる考察 岩本明美／『大乘莊嚴經論』第13章「修行章」—サンスクリットテキストと和訳— 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(III) 乗山悟／アルチャタの「推論の解明」—*Hetubinduṭīkā* 研究(1)(pp. 1-5)—

第4号 乗山悟／アルチャタの「綱領偈」解釈—*Hetubinduṭīkā* 研究(2)(pp. 6-11, 3) 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(IV) 那須円照／得・非得に代わる種子の理論 岡本健資／クナラ王子の物語—*Ku-na-la'i rtogs pa brjod pa* 試訳(1)— 那須円照／アビダルマ研究ノート

第5・6号 神子上恵生／インド瑜伽行唯識学派における諸仏とのコミュニケーション 原田和宗／<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(V) 岡本健資／クナラ王子の物語—*Ku-na-la'i rtogs pa brjod pa* 試訳(2)— 櫻井良彦／説一切有部における衆同分の分類 Kiyoyuki KOIKE(小池清廉)／*Suicide and Euthanasia from a Buddhist Viewpoint —On Nikāya, Vinaya Piṭaka and the Chinese Canon—* Satoru NORIYAMA(乗山悟)／*On the Maṅgala verse of Hetubinduṭīkā* Erich FRAUWALLNER(那須円照訳)／*Die Erlösungslehre des Hīnayāna* (小乗の解脱論)

第7・8号 村上真完／大乘仏教の起原 武田宏道／認識主体としてのプロダガラ存在に関する批判—『俱舍論』破我品の所説を中心にして— 那須円照／*AbhidharmaIpa* (『アビダルマディーパ』)の時間論<三世実有論>試訳 岡本健資／*DivyAvadāna* 第26章所収ウパグプタの物語試訳—猿の瞑想・娼婦への教化・マラーへの教化— 那須良彦／説一切有部における得と随得 Kiyoyuki KOIKE(小池清廉)／*Mental disorders from a Buddhist View, especially those within the Nikāya, the Vinaya Piṭaka and the corresponding Chinese translations*

第9・10号 藤田祥道／大乘の諸経論に見られる大乘仏説論の系譜—I.『般若経』:「智慧の完成」を誹謗する菩薩と恐れる菩薩— 乗山 悟／アルチャタの「主題所属性論」—*Hetubinduṭīkā* 研究(3)(pp.114-1723)— 那須円照／*Pratisaṃkhyānirodha*—"Documents d'Abhidharma traduits et annotés par Louis de La Vallée Poussin: Textes relatifs au *Nirvāṇa* et aus *Asaṃkṛta* en général II." *Bulletin de l'École Française d'Extrême-Orient* 30: p. 272.11-292.17 和訳— 岡本健資／王弟ヴィータショーカの物語—*Divyāvadāna* 第28章 *Vītaśokāvadāna* 和訳— Mark SIDERITS & Shoryu KATSURA／*Mūlamadhyamakakārikā* I-X

第11号 藤田祥道／大乘の諸経論に見られる大乘仏説論の系譜 III—『解深密経』:三無自性という一乗道の開示— 那須円照／『俱舍論』とその諸注釈における作用をめぐる論争—試訳 那須良彦／俱舍論根品心不相応行論—世親本論と諸註釈の和訳研究(2)— 志賀浄邦／*Tattvasaṃgraha* 及び *Tattvasaṃgrahapañjikā* 第18章「推理の考察(*Anumānaparīkṣā*)」和訳と訳注(1) 岡崎康浩／サンギータラトナーカラ第一章試訳・その1 Peter SKILLING／*Mrgāra's Mother's Mansion: Emptiness and the Śūnyatā Sūtras*

第 12 号 藤田祥道／大乘の諸経論に見られる大乘仏説論の系譜 IV—『大乘莊嚴経論』：総括と展望— 那須円照／『アビダルマ・ディーパ』における心不相応行の研究(1) 那須良彦／ 俱舍論根品心不相応行論—世親本論と諸註釈の和訳研究(3)— 志賀浄邦／*Tattvasaṅgraha* 及び *Tattvasaṅgrahapañjikā* 第 18 章「推理の考察(*Anumānaparīkṣā*)」和訳と訳注(2) 五島清隆／龍樹の仏陀観—龍樹文献群の著者問題を視野に入れて— Mark SIDERITS & Shoryu KATSURA / *Mūlamadhyamakakārikā* XI-XXI O. v HINÜBER / The Advent of the First Nuns in Early Buddhism

インド学チベット学研究 第 13 号

2009 年 10 月発行

編集者 桂紹隆

発行者

インド哲学研究会 (代表者 桂紹隆)
Association for the Study of Indian
Philosophy

〒600-8128
京都市下京区七条大宮
龍谷大学文学部
桂研究室気付

DEPARTMENT OF BUDDHIST STUDIES,
FACULTY OF LETTERS,
RYUKOKU UNIVERSITY,
SHICHIJO OMIYA, KYOTO 600-8128 JAPAN

<http://www.jits-ryukoku.net/>

e-mail: skatsura@let.ryukoku.ac.jp

電話 (075) 343-3311 (大代表)

銀行口座 みずほ銀行 京都支店 (普)1003766 桂紹隆

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

(INDOGAKU CHIBETTOGAKU KENKYU)

<http://www.jits-ryukoku.net/>

No. 13, 2009

CONTENTS

- Shobun A. NAITO,
The Organization of the *Mahāyānasūtrālamkāra* and the Structure of
its Chapter IX, "Examination of Enlightenment"
—On the Basis of an Understanding of an *Uddāna* Verse (MSA X. 1)----- (1)
- Satoru NORIYAMA,
Arcaṭa, On *Vyāpti*
—An Annotated Japanese Translation of the *Hetubinduṭīkā*(4)
(pp. 17, 21—21, 10)----- (39)
- Ensho NASU,
A Study on the Concept of *Cittaviprayuktasaṃskāra* (Conditioned Forces
Dissociated from Thought) in the *Abhidharmadīpa* and *Vibhāṣā-prabhāvṛtti* (2)----- (55)
- Kiyokuni SHIGA,
An Annotated Translation of the 18th Chapter (*anumānaparīkṣā*) of
the *Tattvasaṃgraha* and *Pañjikā* thereon (3) ----- (98)
- Kiyotaka GOSHIMA,
An Annotated Japanese Translation of
the Tibetan Version of the *Brahmapariṣcchā* (1)----- (141)
- Yasuhiro OKAZAKI,
An Annotated Translation of the *Samgītaratnākara* Chapter 1 (2) ----- (185)
- Klaus GLASHOFF,
From *Trairūpya* via *Hetucakra* to *Uddyotakara* ----- (239)

Editor

Shoryu Katsura

Association for the Study of Indian Philosophy
Kyoto, Japan